

2026. 8 No.89

Kyoto tango

京丹後市議会だより



茜色の海—夏の記憶— 写真提供：青木一茂さん（大宮町）



Schedule

- 9月 3日 本会議(招集日)
- 9月15日 本会議(一般質問)
- 9月16日 本会議(一般質問)
- 9月17日 本会議(一般質問、議案審査)
- 10月 5日 本会議(最終日)



Photo

令和8年11月発行 京丹後市議会だよりの表紙写真
(発行時期にあった写真)を募集します。

お問い合わせは議会事務局へ



0772-69-0010



gikaisomu@city.kyotango.lg.jp



京丹後市議会



京丹後市議会
議長 中野 勝友

市民の皆様には、平素より市議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。この度、第13代議長に就任し、引き続き議長の重責を担わせていただくこととなりました。改めて使命と責任の重大さを深く認識し、身の引き締まる思いであります。

本市は現在、人口減少や少子高齢化、物価高騰、地域産業の人手不足、医療・福祉・子育て・教育、地域交通、防災・減災など、多くの課題に直面しています。若い世代が希望を持ち、高齢者が安心して暮らし続けられるまちづくりを進めるとともに、産業振興や雇用確保、移住・定住促進などくらしに密着した取組を着実に進めていく必要があります。

今後、市議会として、二元代表制の一翼を担い、予算や条例を慎重かつ的確に審査し、市政を監視するとともに、市民の皆様の声を議論に反映してまいります。市民の皆様信頼され、身近で分かりやすい議会を目指し、誠実な議会運営に努めてまいります。引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

6月定例会

会期は6月11日～7月2日とし、議会人事をはじめ、各種議案の審査・採決、議案撤回の承認、附帯決議、意見書などについて審議し、決定しました。

一般会計 補正予算第2号(再提案分) 8493万円【全員賛成で可決】

- 市立病院医師及び看護師などの確保支援……………3090万円
- 子どもの遊び場(巡回型・移動型)設置……………1210万円

一般会計 補正予算第3号 1億5988万円【全員賛成で可決】

- 水道基本料金(3カ月)の免除……………6601万円
- プレミアム付きデジタル商品券発行……………1295万円
- 機械金属業物価高騰対策支援給付金……………2000万円

補正予算第2号

主な質疑と答弁

図書館管理運営事業

問 市民会議の設置目的は。

答 2回の議会否決を受け、広く市民の意見を聞き、あり方を改めて議論する。

問 具体的な議論の中身は。

答 中央図書館の整備だけでなく、既存図書館・図書室を含めたサービス全体を議論する。

問 3回の市民会議で十分なのか。

答 この3回は、第1段階の土台づくりであり、中間まとめを行い来年度以降につなげる。

二地域居住等推進事業

問 ふるさと住民登録2万人の効果は。

答 来訪や地域活動への参加、ふるさと納税・産品購入などを通じ、関係人口の拡大と経済効果につなげる。

問 委託先と公民連携の内容は。

答 委託先は市内事業者を予定。企業、金融機関、地域団体などが連携し、地域居住推進の戦略づくりを行う。

問 プロモーションの狙いは。

答 観光PRにとどまらず、二

地域居住を進め、継続的に関係人口を増やすこと。

子どもの遊び場づくり推進事業

問 なぜ巡回型、移動型なのか。

答 早期に6町へ遊びの機会を届ける。今後の常設整備の検討材料とする。

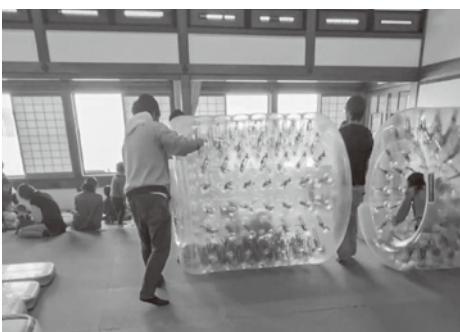
問 移動型遊び場の実施方法は。

答 地域団体などの要請を受け、各地域へ出向く。

問 巡回型遊び場の実施方法は。

答 6町で年間36回、事前申込制で実施予定。

【全員賛成で可決】



1日こども広場の様子

補正予算第2号に関する附帯決議 全員賛成で可決！

図書館管理運営事業

新図書館の整備案が過去2度否決された経緯を重く受け止め、結論ありきの誘導や市民への責任転嫁との懸念を払拭して誠実に推進すること。

- 市民会議は中央図書館建設を前提とせず、公平・中立に多様な選択肢を議論すること。
- 将来の整備や既存施設のサービス向上に向けた基本計画策定を目指し、図書館の在り方を議論すること。

二地域居住等推進事業

成果指標（KPI）の「登録者数2万人」の達成だけでなく、目指すべき効果を測定できる仕組みを構築すること。

- 二地域居住や関係人口の本市への滞在、地域経済・社会への貢献など実質的な効果を客観的に検証できる指標や測定手法を構築し、速やかに議会へ提示すること。

子どもの遊び場づくり推進事業

本事業は常設の遊具設置を前提としたものではなく、安全な屋内遊び場を早期確保するための「常設化に向けた実証事業」であり、次のことに留意すること。

- ニーズ調査を徹底し、次年度予算での常設化に向けた具体的な取り組みとすること。
- 費用対効果や利用実態を厳格に検証し、持続可能な維持管理体制を検討すること。

中山市長に猛省を求める決議 賛成多数で可決！

補正予算（第2号）の「行政 MaaS 推進事業」について、審査の途中で市長から「説明不足」を理由に、補正予算の撤回と同事業を除外した再提案の申し出があった。議会は市政の停滞を回避するために撤回を特例として承認したものの、審査が佳境に入った段階での撤回は、市民の代表である議会の修正権や議決権を形骸化させかねない事態であった。そのため、議会はこの撤回承認が市長の姿勢を容認したものではないことを厳しく示し、今後は議案を十分に精査した上で提出すること、そして議会の権能を尊重し誠実に対応することを強く求める決議を可決した。

補正予算第3号

主な質疑と答弁

物価高騰対策全般

問 プレミアム付きデジタル商品券は高齢者などが使いにくいのでは。

答 利用者・加盟店とも増えしており、昨年度も完売をしている。

問 市民への直接支援を重視すべきでは。

答 水道料金免除や商品券で生活者を支援し、事業者支援も含めてバランスを取った。

意見交換

● プレミアム付きデジタル商品券について、より多くの市民が利用できるよう、利用拡大に向けた取り組みが必要である。

賛成討論

● 当初予算と合わせて水道基本料金の6カ月免除を評価する。各支援策を広く周知し、多くの市民や事業者の利用を求める。

● 市民生活を踏まえた施策として評価するが、物価高騰は続くため、さらなる支援を求める。

● 市民生活と事業者を支える予算であり、機械金属業支援やエネルギー支援を評価する。

【全員賛成で可決】

意見書

次の意見書を国へ提出しました。

ガザ地区及び中東地域、ウクライナ・ロシア地域における即時停戦と平和的解決を求める意見書



QRコードから
本文をご覧ください

女性差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた検討を求める意見書



QRコードから
本文をご覧ください

医療人材確保へ！

医師・看護師等就業支度金条例 全員賛成で可決！

新たに市立病院などへ常勤医師・看護師及び助産師として勤務する者に就業支度金を貸与し、一定の条件を満たした場合に返還を免除する制度を創設する。

医師は、市立病院などに新たに常勤する者で、過去1年以内に市内居住・市内医療機関勤務のない者を対象とする。
看護師・助産師は、市立病院に新たに常勤する者で、過去1年以内に市内居住・丹後医療圏内勤務のない者を対象とする。

主な質疑

問 制度創設の目的は。

答 第一の目的は、深刻な医師不足に直面している市立病院への医師確保を図り、地域医療を維持することである。

問 市立病院などに限定しているが、民間医療機関などへの影響はないか。

答 市内の医療機関からの流入を防ぐため、居住要件などの制約を設けた。

意見交換

● 地域医療を守るために必要な施策と考える。医師・看護師の確保や、定着率、支度金の効果などを検証し、実態に合わせた見直しを行うべきである。

● 医療人材の確保は喫緊の課題であり本制度を高く評価する。民間の医療機関などの存在により医療インフラは維持されている。市立病院などを対象とした緊急措置であるが、地域全体の医療体制が今後も守られていくことが重要だ。

【全員賛成で可決】

新体制でスタートします

議長・副議長

議長 中野 勝友
副議長 多賀野一彦

議会選出監査委員

和田 晋

議会運営委員会

委員長	東田 真希	副委員長	橋本まり子
委員	池田 恵一		櫻井 祐策
	多賀野一彦		田中 邦生
	谷津 伸幸		野木 教貴
	永井 友昭		鳴海 公軌

広域連合議会議員

京都地方税機構議会	永井 友昭
京都府後期高齢者医療広域連合議会	吉岡 正一

議会改革特別委員会

委員長	東田 真希	副委員長	小牧 裕幸
委員	佐久間仁美		永井 友昭
	鳴海 公軌		橋本まり子
	平林智江美		山本 佑太
	吉岡 正一		和田 晋

常任委員会

○ 総務常任委員会

委員長	永井 友昭	副委員長	吉岡 正一
委員	小牧 裕幸		多賀野一彦
	田中 邦生		松本 聖司
	和田 晋		

○ 文教厚生常任委員会

委員長	鳴海 公軌	副委員長	山本 佑太
委員	池田 恵一		櫻井 祐策
	橋本まり子		源 進一

○ 産業建設常任委員会

委員長	野木 教貴	副委員長	由利 彰基
委員	佐久間仁美		谷津 伸幸
	東田 真希		平林智江美

○ 予算決算常任委員会（議長を除く全議員）

委員長	多賀野一彦
副委員長	櫻井 祐策

地域基盤・行財政調査特別委員会

委員長	谷津 伸幸	副委員長	由利 彰基
委員	池田 恵一		櫻井 祐策
	多賀野一彦		田中 邦生
	野木 教貴		松本 聖司
	源 進一		



6月定例会 一般質問



市政を問う!

一般質問は、
令和8年6月23日、24日、25日
の日程で行い、17人の議員が質問し、
市長などに答弁を求めました。

一般質問とは?

市政運営全般にわたり、問題意識を投げかけ、
市の見解を直接求めるものです。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要
約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャン
ネルでの放送や京丹後市議会ホームページで
配信していますのでご覧ください。

パソコンやスマートフォン
で議会の中継・録画が視聴
できます。



京丹後市議会

検索

<https://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai/>

一般質問



政 溪 会

ひがしだ ま き
東 田 真 希

録画配信は
こちら



問 大宮診療所休診で多くの不
安の声を聞く。現在の対応や
今後の体制は。

市長 診療所窓口で他医療機
関への受診調整を行い、直営
での診療再開に向け、医師確
保を進めている。

問 市立病院の経営環境は厳し
く、昨年は資金不足が11億円
発生した。この状況をどう認
識しているか。

市長 物価・人件費高騰や医
療人材不足で経営は厳しい。
限られた資源で安定運営を続
けることが責務。

問 医療資源が限られる中、医
療機関同士の役割分担、連携
強化が重要ではないか。

市長 4病院体制を維持し、
府や大学、関係機関と連携し、
AI・DX活用で持続可能な
地域医療の確保に努める。

大宮診療所休診と市立病院赤字、地域医療の未来は

物価高騰対策交付金

問 国から8億円が出ている。
市民から支援が実感できないと
聞かが認識は。

市長 62%を市民、21%を事
業者支援に充当している。市
民にしっかりと還元できたこ
う認識。

問 残る交付金は、市民の負担
軽減につながる施策に充てる
べき。

市長 市民や事業者のニーズ
を踏まえ、適切に判断してい
く。



これからの地域医療はどうなるのか

一般質問



政 溪 会

わ だ すむ
和 田 晋

録画配信は
こちら



問 放課後児童クラブへの送迎について、スクールバスと同様に「全員着席・全員シートベルト着用」が望ましい安全基準との考えか。

市長 全ての児童が一人一席に着席し、シートベルトを着用できる状態が、より望ましい安全確保のあり方であると考えている。今後はその方向で運行方法の見直しを進めたい。

問 中学校に整備した給水機の効果の評価はどうか。

教育長 多くの生徒が利用しており、水筒の補充や部活動の水分補給に有効である。熱中症対策として導入効果があると考えている。

問 給水機の整備は実効性の高い熱中症対策。小学校へも整備が望ましいが検討状況はどうか。

子どもたちの安全な登下校環境の実現に向けて



子どもたちの安全を守る施策の充実を求める

教育長 中学校での利用状況や学校での意見を踏まえ、必要性や整備について検討していきたい。

問 熱中症対策や放課後児童クラブ送迎の安全確保について、市長はどのような優先順位で取り組むのか。

市長 子どもの命を守ることは最優先課題。子どもたちの健康と安全を守るため、しっかり検証し、必要な対策につなげていきたい。

一般質問



政 溪 会

こ ま き ひろゆき
小 牧 裕 幸

録画配信は
こちら



問 国の物価高騰対策交付金が一般財源に充当されている部分がある。市民への直接的支援はどのように検討されたのか。

市長 国の基準の範囲で全体の1割強を一般財源に充てている。推奨メニューをもとに、市民や事業者のための施策を幅広く検討し、子育て、非課税世帯への給付、水道基本料の免除など、直接支援にも活用している。

問 交付金の残額と6月補正分、合わせて約1億円の使途はどうか。

市長 市民、事業者ニーズや地域経済の状況を見極めながら、速やかな執行を目指し検討する。

市営住宅の建て替え計画は

問 周枳団地は完了したが、建て替えが示されている余部団地の今後の計画は。

国費による物価高騰対策と本市の諸課題を問う



完成した周枳団地

市長 現時点では、事業化や住民説明などの実施時期を示せる段階ではない。

高齢行方不明者の対策は

問 搜索開始までの時間が早期発見へ直結する。連携の課題はどうか。

市長 初期段階での情報収集の迅速化が重要であり、警察をはじめ関係機関と連携を密にし、状況に応じた適切な対応に努める。

一般質問



政 溪 会

た に つ の ぶ ゆ き
谷 津 伸 幸

録画配信は
こちら



行政ガバナンスと地域拠点の
持続性

問 市の対応に起因する運営事業者の撤退などを厳粛に受け止め、地域の交流拠点の機能をどう守るのか。

市長 事業者への貢献に感謝し反省。地域に損失が出ないよう機能維持と新たな運営体制を検討する。

浅茂川温泉プールの耐震診断
と民間活用を

問 議論を3年引き延ばし閉鎖した施設。耐震診断の結果を待つ間に施設譲渡などのサウディング型市場調査を並行し、迅速な出口戦略の選択肢を用意すべき。

市長 前倒しで情報収集や条件整理を進め、民間活力を積極的に活用する。

公共施設の明確な出口戦略と組織風土の変革へ



健康維持のため再開が望まれる温泉プール

職員の早期退職防止と健全な
組織風土の構築を

問 同一体制の長期化による組織の硬直化や業務肥大化による現場の疲弊を直視すべき。職員の意識調査やハラスメント防止条例の適切運用をどうするのか。

市長 相談窓口や委員会を適切に運用・周知する。トップダウンとボトムアップを調和させ、働く環境をさらに充実させる。

一般質問



政 溪 会

さ く ら い ゆ う さ く
櫻 井 祐 策

録画配信は
こちら



問 人間診療所を丹後庁舎へ機能移転することについての行政の認識と課題は。

市長 移転により、立地課題の解消や維持管理コストの縮減、行政・福祉・医療・介護の一元化が図れる。更に金融機関などとの複合化で市民の利便性や効率化が高まる一方、利用者が集う場での感染症対策の区分けが課題である。

問 5年が経過した竹野川分遣所の「分署化」の具体的な検討状況は。

市長 具体的に検討を進められる段階だが、現場への指揮や安全管理、働き方改革への対応などにより、十分な人員体制がとれない実情がある。

しかし、丹後地域の長年の課題であり、庁舎活用に向けて早期実現に取り組んでいきたい。

各地域の特徴を生かした「複合型地域拠点」の構想は



丹後庁舎の空きスペースの活用が求められる

問 これらの地域の現状課題から消防分署と診療所を広く空いている丹後庁舎へ集約する「複合型地域拠点」への考えは。

市長さまざまに安心安全の機能が合わさる提案について魅力を感じる。複合的になればスペースや機能の分担に課題があるため、今後は住民の声も聞き、議論を前に進めていきたい。

一般質問



政 溪 会

の ん の り た か
野 木 教 貴

録画配信は
こちら



友好都市「実利ある都市間連携」へ

問 単なる親善から脱却し、過疎化・インフラ老朽化など共通課題の解決や産業・観光振興に直結する実利的連携にシフトすべきでは。

市長 課題を共有する自治体と知恵を絞り行動することは極めて有効。住民の生活支援充実に向け、実効性の高い連携にさらに軸足を置く。

防災アプリを全世代の「日常の安心ツール」へ

問 3月導入の総合防災アプリの普及は。子どもの防災教育や地域コミュニティの共助にどう活用するか。

市長 運用3カ月で目標超えの約5800件を達成。今後は学校のタブレット端末へのアプリ導入を検討。地域では、出前

実利ある連携・防災アプリ・レジェンド連携を問う

講座や説明会を積極的に展開したい。



野村克也ベースボールギャラリー

野村氏×長嶋氏の絆で紡ぐ「レジェンド連携」

問 名誉市民・野村氏と長嶋氏の絆を礎に、千葉県佐倉市など野球交流や友好都市締結を模索し、全国へ発信しては。

市長 ロマンがあり夢のある提案。顕彰事業を形にしつつ先方と共有し、段階的に交流の可能性を探る。

一般質問



政 溪 会

よしおか まさかず
吉 岡 正 一

録画配信は
こちら



問 ブルーフラッグ認証取得の目的及び意義について。

市長 京丹後の海を安心・安全で美しく、環境にも優しく国際的にも評価される観光資源へと高めていく。さらに、持続可能な観光振興と地域経済の活性化につなげていく。そのため、市としても、浜詰夕日ヶ浦海水浴場ブルーフラッグ取得推進協議会の構成員として積極的に関与していく。

問 観光立市の実現に向けては、道路やトイレなどのハード面における受入環境の整備が重要ではあるが。

市長 国や府の補助制度も活用し、本市を訪れる方が快適に期待感を持って過ごしていただける上質な滞在環境の整備に努めて行く。

観光振興及び防災力向上に向けた政策を問う

防災局の設置要望について

問 防災庁の地方機関である防災局誘致の背景は。

市長 国の地域拠点を置く目的を達成しながら、地域の防災力向上と地域活性化を図っていくこと。

問 常備消防として、大規模災害対応は重要である。条例定数見直し、はしご車両導入の検討時期ではないか。

市長 消防力については、国の基準を確保している。



夕日美しい浜詰夕日ヶ浦海水浴場

一般質問



政 溪 会

い け だ け い い ち
池 田 恵 一

録画配信は
こちら



問 峰山総合福祉センターの今後について。

市長 建物の標準耐用年数を65年と想定しているが65年を過ぎたからすぐ使用できないということではない。80年程度の使用も視野に入れて検討していきたい。

問 今後の耐震診断も含めて検討はいつするのか。

市長 福祉センターの今後についてはまだ検討していない。令和11年までには結論を出したい。

宿泊税の検討は

問 今回の観光振興計画に宿泊税の検討があるが、その目的は。

市長 本市の観光振興を継続的にするためにも重要な財源の一つになりうる。

峰山総合福祉センターの今後について



峰山総合福祉センターの活用は

問 全国の導入状況は。

市長 全国で45団体が導入済で京都府では京都市のみが導入している。

問 現在導入に向けての検討状況は。

市長 本年度専門的に検討する経費を予算化し、現在は委員の選任、設置要綱の制定など準備を進めている。

問 検討に当たっては事業者の意見をしっかりと聞く必要があるが。

市長 税の使途も含め、検討したい。

一般質問



日本共産党

た な か く に お
田 中 邦 生

録画配信は
こちら



問 この5年間で市の農家総数が20%減少、従事者は60歳以上が66%と危機的状況である。食糧法改正は、水活交付金の見直しや米の民間備蓄制度など大問題。改正に反対し、米生産に責任を持つ農政を求める必要がある。

市長 農業資材の高騰と生産者米価下落への市独自支援が求められるが。

市長 農家減少と高齢化が進み水田の維持が困難な状況と承知している。

食糧法改正で、生産調整削減や自治体の役割縮小など一定の影響はあると認識している。制度変更を注視し、府・JAと連携し、小規模農家も含め支援する。

資材の物価高騰対策は、国・府制度を活用しつつ、可能な限り対応する。

食料生産に責任を持つ農政に転換を



改修が急がれる墳丘へ登る崩れた階段

赤坂今井墳墓の環境整備を

問 赤坂今井墳墓の駐車場整備、登り道の階段が崩れ安全対策が必要である。

第一主体部の現況の可視化が求められるが。

教育長 駐車場整備は重要である。登り道の調査を行い必要な対策を実施する。

第一主体部は埋め戻され位置が分かりにくい。遺跡を傷つけない方法での地表表示など可視化を検討する。

一般質問



日本共産党

はしもと こ
橋本まり子

録画配信は
こちら



問 新庁舎では職員は課ごとの席ではなく、担当がどこにいるのかわからず市民からは「声をかけにくい」「誰に相談すればよいか分からない」との声がある。市民目線で改善する考えは。

市長 コンシェルジュ配置や窓口案内を充実し、表示や職員間の引継ぎも改善する。市民の声を反映し、相談しやすい市役所を目指す。

定住支援奨学金返還支援制度の対象者の見直し拡充を

問 若者定住が制度の目的なら、公務員や、保育士、医療職、会計年度任用職員なども対象にすべきでは。

教育長 民間就業支援を目的としており対象外としているが、他自治体の動向も踏まえ検討する。

声かけしにくいと言わせない相談しやすい市役所に



市民の声と職員の工夫で使いやすい市役所に

中小規模農家支援の充実を

問 将来の支え手を増やすために、認定農業者の基準を市独自に緩和するなど、中小規模農家への支援もあわせて拡充が必要では。

市長 小規模・兼業農家も地域農業を支える重要な担い手と認識しており、それぞれの役割に応じた支援を進め、多様な農業が共存する地域を目指す。認定農業者の基準変更ではなく、他の支援で支えていきたい。

一般質問



日本共産党

ひらばやし ち え み
平林智江美

録画配信は
こちら



問 物価高騰対策として、国の臨時交付金が約1億円ある。市民生活は大変厳しい。市が実施する水道基本料金3カ月免除（10月から12月）があり、市民の暮らしを直接支える施策として大変ありがたい。さらに、3カ月延長してはどうか。

市長 市民生活・地域経済への影響を見極めながら、前向きな検討を重ねたい。

古いゴミ袋の有効活用を

問 7年前に回収した古いゴミ袋が17万枚残っている。物価高騰対策として、生活困窮者へ配布するなど有効活用すべきであるが。

市長 誤使用や収集現場での混乱の懸念があり、市民への配布は困難である。

物価高騰対策に水道基本料金免除の延長を



暮らしを直接支える施策を

問 高齢化が進む中、粗大ゴミの搬出が大変である。月1回程度、収集日を決めて実施しはどうか。

市長 収集体制の確立が困難である。ただし、高齢者などには1品550円で回収する制度がある。

米軍基地をめぐる

問 発電機の長時間稼働で地域住民に、大変迷惑をかけているが、市の対応はどうなっているか。

市長 防衛局に土日・夜間の稼働回避を要請。

一般質問



日本共産党

みなもと しんいち
源 進一

録画配信は
こちら



問 イランと米国の首脳が和平合意に向け、話し合いを始めた。世界情勢の問題だが、私たちの暮らしと仕事に大きな影響が及ぶ。市の認識は。

市長 ナフサは幅広い石油化学製品の基礎原料である。その不足は事業者の燃料、資材、仕入れ価格などの上昇につながる。状況の変化に対応できるように注視していく。

問 自動車の所有者はオイル交換時期の先延ばしなど対策を考えている。市民生活についての認識は。

市長 包装材の不足、価格高騰など消費者への経済的な負担が生じている。市民生活の影響には今後も注視していく。

問 建設業、塗装業では2カ月連続で資材価格上昇の事例があり、当面の資金繰り判断に窮する事業者もいる。市民生

原油・ナフサ不足の影響に対策を



原油・ナフサから造られる製品(容器)など

活では物価の高騰で家計負担増が懸念されるが市の認識と対応は。

市長 価格は容易に元へ戻らないとの認識である。国の交付金を活用して対策を行う。地方から声を上げることが大切でありさまざまな形で諸物価高騰の対策を国に対して要請する。

一般質問



無会派

ゆり あきもと
由利 彰基

録画配信は
こちら



不登校問題への対応
問 出現率の現状と名称の課題は。

教育長 小学校34人、中学校30人で全国より低水準。「不登校」という名称の心理的負担を考慮し、市は「さまざまな心の状態にある子ども」という独自の表現を使用。社会的自立をゴールに据え、寄り添った支援を展開していく。

障がいのある子どもたちの教育環境
問 インクルーシブ教育の推進策は。

教育長 年1回から2回の居住地校交流は特性への配慮など課題がある。現場の負担を抑え日常的交流を創出するため、ICT遠隔交流を検討。舞鶴市の事例を参考に「複籍制度」の導入可能性を前向きに探る。

全ての市民に居場所と安心を。3つの重要課題に迫る



手のひらに安心を
本画像は生成 AI を使用して作成したイメージです。

防災アプリの普及
問 現在、普及率約12%からの拡大戦略は。

市長 インストール率の低さが課題となっており20代や70代に対し、携帯シヨップとの協力体制の構築や、丹後緑風高校の取り組みとの連携を検討し、アプローチを強化する。共通マニュアルを整備し全庁一丸で全市民への普及を目指す。

一般質問



無会派

まつもと しょうじ
松本 聖司

録画配信は
こちら



問 都市拠点交流施設整備案が2回目の否決となった。課題意識についての考えは。

市長 大きく5点を認識。財政の持続性。市民への説明などの不足。地域間の均衡ある発展。事業内容の見直しプロセス。定量的な事業効果の説明不足である。

問 行政内で貸館施設利用における受益者負担が議論されている。88施設の維持管理費が、年間2億8千万円で、減免後の利用者負担は1000万円(3.6%)である。受益者負担をどう認識しているのか。

市長 都市部と違い日常の公民館・地域活動と密接な関連が多い。また、市内の所得水準が低いことから、値上げによる利用者の減少を心配している。その上で慎重に判断していく。

都市拠点交流施設の再提案に向け課題は解決できるか



市内で最も新しく建設された丹後小学校

学校長 寿命化の将来負担は

問(仮) 学校施設長寿命化計画では、40年間、毎年16億円が必要で、総額632億円となる。前期計画から倍増した。また、過去5年間、予算措置できなかった理由は。

教育長 計画は児童生徒数の推移と物価高騰の影響で再検討中。理由は、予算編成上の理由が最も大きい。

一般質問



無会派

ながい ともあき
永井 友昭

録画配信は
こちら



問 議会より「女性活躍なくして本市の活性化はできない」という旨の提言を出した。市の受け止めは。

市長 とても重要な内容だ。女性の働く場の環境づくり、活躍できる機会の確保など提言の内容に学んでやりたい。

問 ジェンダーギャップの視点からまず現状のエビデンスの把握を求めたが具体的方策は。

市長 関係部局と問題意識を共有し、市内事業者とも連携して現状を適切に把握することから始めたい。

米軍発電機問題

問 今年は発電機の稼働が既に11回、80日以上、今日(6月25日)も動いている。市の把握は。

市長 稼働が多く長期化している。土日祝日夜間の稼働を控えるよ

総務委員会「女性活躍の提言」、どう受け止めた

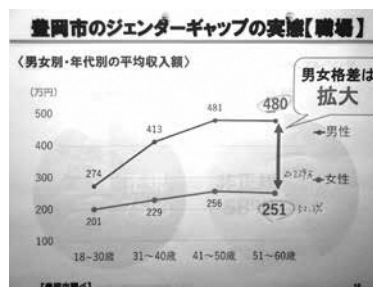
う要請している。

問 「緊急メンテ」を理由とする稼働が多いが、その実態は停電時と全く同じで、メンテではなくリーダーの電源として利用していると思われる。おかしいのではないか。

市長 理由の如何を問わず、最小限の稼働を求めている。

問 稼働内容が外から見て分かるにもかかわらず、理由を問わないのは問題ではないか。

市長 とにかく稼働を限定してくれという立場だ。



豊岡市、男女の賃金格差の実態

一般質問



無会派

なるみ まさのり
鳴海 公軌

録画配信は
こちら



鉄道新駅について

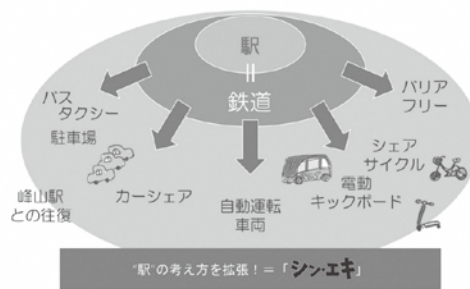
問 賛否が分かれる都市拠点公共施設建設を前提にせず、鉄道新駅の誘致を優先して検討を進めるべきではないか。新駅の設置には、都市拠点公共施設の建設が条件なのか。

市長 新駅設置は、鉄道事業者と沿線自治体で策定した「鉄道事業再構築実施計画」に位置づけられている。都市拠点公共施設建設が条件だと決定している訳ではないが、都市拠点エリアに誘致するためにも都市拠点公共施設建設と並行して協議を進めたい。

こども若者とまちづくり

問 こども若者も主権者である。要望にとどめず、意見聴取・丁寧なフィードバックの実施と、少額予算を用いて若者がアイデアを実践できる仕組み

鉄道新駅の誘致は



交通結節機能で地域全体を活性化させる

を創設して協働する考えは。

市長 良い提案だと受け止める。意見の反映状況やその理由を、こども若者に分かりやすく伝える仕組みを工夫する。また、若者を「まちづくりのパートナー」とし、探究の提案にとどまらず自ら地域課題を解決するプレーヤーとして実践できる環境整備を進める。

一般質問



無会派

さくま ひとみ
佐久間 仁美

録画配信は
こちら



下水道事業について

問 老朽化する下水道管の点検の現状と、道路陥没事故を未然に防ぐ具体的な安全対策は。

市長 本市の下水道管は主に腐食リスクの低い塩化ビニル管を採用しているが、全体の4%を占めるコンクリート管については対策が必要。他自治体の道路陥没事故を教訓に、本市でも計画的にテレビカメラ調査を実施し事故の未然防止と安全確保を徹底する。

問 未接続世帯への水洗化の促進と、工事に伴う市民の経済的負担を軽減する支援策は。

市長 物価高による負担増や後継者不足、建物の老朽化など未接続世帯の個別事情を踏まえ、今後は財源確保と効果的な制度見直しを検討するとともに、市民に寄り添った相談体制の構築に努める。

市民の暮らしを守る下水道対策と新コミュの未来



下水道の安全を徹底、マンホールトイレ確保

新コミュについて

問 新コミュのこれまでの成果、今後の持続可能な地域づくりの展望は。

市長 多世代参加の自治維持の基盤を作れたことが成果。今後は形の中に活力を生み、人を育むため、生活の現場から課題解決を行う中心の機能としてさらに精進する。

会期は5月18日とし、専決処分の承認、財産の取得、ハラスメント防止条例を可決しました。

- 避難所のエアコン取得（議案第 68 号）【全員賛成で可決】
災害時の避難環境改善のため、移動式空調機器 26 機を購入。平時は小中学校の体育館などで活用。
- 自動車購入時の負担軽減（議案第 60 号）【全員賛成で承認】
自動車購入時の環境性能割が廃止され、市民の金銭的負担を軽減。
- 補正予算の専決処分（議案第 62 ～ 67 号）【全員賛成で承認】
令和 7 年度一般会計ほか、各会計の歳入歳出確定に伴う調整。

国民健康保険税条例の一部改正（議案第61号）

問 3月に改正したのに、なぜ再改正するのか。物価高の中での影響は。

答 3月の改正後、国の通知があったため。低所得者層の軽減判定を広げることで、32世帯で約88万円の軽減効果がある。一方で、制度維持のため高所得者層の課税限度額が一部引き上げられる。

反対討論

高齢者や非正規など加入者の負担が重い現状で、子育て支援のための負担を国保税に上乘せすることには反対。子育て支援は本来、公費を充実させ、社会全体が支えるべき。

【賛成多数で承認】

誰もが尊厳を持って、安心して暮らせるまちへ

「京丹後市の市長等、職員及び議員のハラスメント防止に関する条例」を
全員賛成で可決

—— 過去の問題を教訓に。自ら襟を正す、聖域なき『抑止』の仕組み ——
市役所内部のルールとして議会提案で制定しました。

相談 本人・家族から
(内部または外部窓口を選択)

調査 市長・議長が当事者の場合、
副市長・副議長らが職務代理
有識者委員会が公平に調査

措置 市長・議員などは、事実を公表
職員は、ルールに則り懲戒など

Q もし加害者が市長や議長など
だった場合、もみ消されたり
しませんか。

A 市長・議長自身が当事者の
場合は、副市長、副議長が、
職務を代行します。また、外
部の有識者委員会が公平に調
査し、確認された場合、その
事実を公表します。

Q 本人が怖くて窓口へ相談でき
ない場合、どうしたら良い
ですか。

A 役所内の窓口に加え、安心し
て話せる外部の専門相談窓口
があります。さらに、本人を
守るため、家族や同僚からの
代理の相談も受け付けます。

賛否一覽

(6月定例会分)

賛否の分かれた案件を
記載しています。

《凡例 賛成:○ 反対:× 退席:退 欠席:欠 除斥:除 表決権なし:-》
中野勝友議員は議長職のため表決権はありません。

会 派 名		議 案 の 可 否	政 派 会										日 本 共 産 党		無 会 派						
議 員 名			櫻井 祐策	池田 恵一	小牧 裕幸	多賀野 一彦	谷津 伸幸	野木 教貴	東田 真希	山本 佑太	吉岡 正一	和田 晋	田中 邦生	橋本まり子	平林智江美	源 進一	佐久間仁美	永井 友昭	鳴海 公軌	松本 聖司	由利 彰基
案 件																					
令和8年度京丹後市一般会計補正予算(第2号)の撤回について		承認	○	×	○	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○
京丹後市てんきてんき村関連施設条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
京丹後市弥栄あしぎぬ温泉条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
中山市長に猛省を求める決議		可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×



令和8年5月 峰山町・大宮町・網野町で開催

市民と議会の懇談会



○3月定例会の概要報告

○市政に対する提言、議会活動などについて意見交換

懇談テーマ：「地域課題について」

懇談会の参加者のご意見などを掲載しています。カフェ方式(自由に対話のできるグループ形式)で行います。

懇談会で出された意見や要望は必要に応じて各常任委員会でも所管事務調査をするなど対応します。



峰山会場

峰山会場

◎地域課題についてのご意見

意 市民局の予算減額で道路など地区要望の原材料が支給されないのは困るため、改善してほしい。

意 旧長岡小学校スクールバス発着時の子どもの安全確保を地域任せにせず、市や教育委員会が積極的に関与し、添乗員を配置するなどしてほしい。

◎その他のご意見

活動の地域格差が生じている。公民館を若い世代や子ども達が気軽に利用できる居場所にするべき。声掛けによる高齢者独居世帯の安否確認方法の周知や、買い物移動難民への対応が必要。若者が戻るUターンなど施策の展開や、将来を見据えた小学校の統合を行うべき。などのご意見を頂きました。



大宮会場

大宮会場

◎地域課題についてのご意見

意 家庭菜園向け鳥獣害対策で市の独自補助制度の案内がなく不公平なため、利用における公平性を担保してほしい。

意 有害鳥獣対策を猟友会任せにせず、捕獲単価の見直しや埋設場所の整備、市・議会で情報共有の場を設けてほしい。

意 児童数の減少に伴い、常吉地域のスクールバスが来年度以降利用できなくなる不安に対し対策を講じてほしい。

◎その他のご意見

高齢者が使いやすいようライドシェアの予約や運行日を改善すべき。閉校施設の早期有効活用や企業誘致、防犯カメラ設置を強化すべき。担い手不足への支援や条件緩和、下水道整備計画の周知をすべき。などのご意見を頂きました。

網野会場

◎地域課題についてのご意見

意 丹後王国のボールプール内に石が混ざり危険なため、状態を改善してほしい。

意 弥栄病院へ小児科を設置してほしい。

意 神社や山など、農業以外の分野へも有害鳥獣支援を広げてほしい。

意 学校体育館の照明切れやカーテンの破れなど、整備が不十分。

◎その他のご意見

除雪作業で破損した防獣柵などの修繕に、公賠保険を適用してはどうか。スポーツ同様に、文化芸術分野への支援や懸垂幕などの扱いを等しくしてはどうか。ちりめん祭りへの支援や、海岸漂着ごみの搬出に関する支援を拡大すべき。などのご意見を頂きました。



網野会場

調査結果報告

問 長岡小学校のスクールバスの発着場所は安全面から再検討が必要では。

答 教育委員会では、実際の通学状況を確認し、地域や保護者と協議し、場所の変更を含めて検討を続けています。

問 下常吉地域のスクールバスの状況や今後を確認したい。

答 教育委員会では、下常吉区の児童数が基準以下に減少したことから総合的に判断し、令和8年度からスクールバスによる支援をしています。(来年度以降は、その状況をふまえて判断します。)

問 文化芸術分野における懸垂幕などの掲示のルールは。

答 教育委員会では、スポーツ分野の基準を文化芸術分野でも準用しています。懸垂幕は小中高生が国際大会に出場した場合に掲示対象としています。なお、文化芸術分野で掲示した事例はありません。

所管事務調査報告書

市政の課題把握に
対して、各委
員会での議論に
生かすため先進
地視察を行い、
市議会ホーム
ページで公開し
ています。



▲詳細はこちら

◆次回開催◆
令和8年11月予定

京丹後市網野町出身の田中菜々美(18)です。高校卒業まで網野で育ち、現在は和歌山大学観光学部に在学しています。

幼い頃から家族と海へ行ったり山に登ったりするなど、自然の中で過ごす時間が多くありました。そんな環境で育った私は、京丹後市の豊かな自然や温かい人々、そして伝統ある祭りが大好きになりました。

高校に入学した当初は大学進学を考えておらず、卒業後は海外に行こうかなと漠然と考えていました。そんな私が大学に行きたいと思えたのは、高校での総合的な探究の時間が



ボランティア活動の思い出

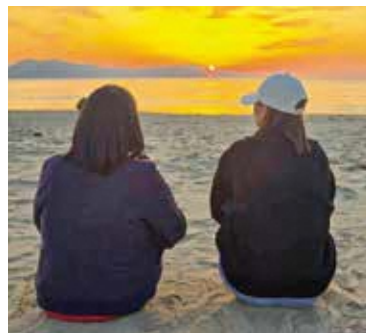
きっかけです。海ごみアート制作やボランティア活動などを通して地域の方々と関わる中で、海ごみ問題や空き家問題、少子高齢化、文化継承など地域が抱える課題を知りました。そして地域づくりや地域再生に興味を持つようになり、地域と密接に関わりながら学べる和歌山大学観光学部への進学を決意しました。受験ではプレゼンテーションと面接に挑戦し、家族や友人、先生方をはじめ多くの方々に支

えていただき、合格することができました。支えてくださった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

大学進学を機に地元を離れたことで、改めて京丹後市の魅力を感じました。地域の方々が自然に声をかけてくださる温かさや人と人とのつながりは決して当たり前のものではなく、京丹後市の大きな魅力だと感じています。現在は大学の地域連携プログラムに参加し、古民家を活用した宿泊施設、カフェ、コミュニティスペースづくりに取り組んでいます。

地域の方々と協力しながら活動する中で、地域づくりに必要な知識や実践力を学ぶ毎日です。

将来の進路はまだ明確には決まっていません。しかし、必ず京丹後市に帰り、大好きなふるさとのために力を尽くしたいと思っています。私に多くの出会いと経験を与えてくれた京丹後市が、これからも多くの人に愛され、地元を離れた人が「帰ってきたい」と思える場所であり続けて欲しいです。そして私自身も、大学での学びを生かしながら、その魅力を未来へつないでいく1人になりたいと思います。



大好きな海と夕日

afterword

あ と が き

昨年の全国出生数が67万人あまりとなり、10年連続マイナスとの新聞報道がありました。この数字は想定よりも15年早いといわれており、待ったなしの問題だと感じております。

今回の議会だよりは、5月臨時会と6月定例会を中心にまとめており、5月臨時会では、財産の取得などについて、6月定例会では、初日に正副議長などの議会人事を決定したほか、各種条例改正、補正予算などが上程され、活発な議論が繰り広げられました。

広報編集委員会も新しいメンバーとなり、より見やすくわかりやすい紙面に向け、今後も一層の努力をさせていただきます。



◎ 広報編集委員会

(前列右から)

委員長 池田 恵一

委員長 谷津 伸幸

委員長 多賀野 一彦

委員長 佐久間 仁美

(後列右から)

委員 橋本 まり子

委員 鳴海 公軌

委員 山本 佑太

委員 源 進一

